

## 第 1 章 水道ビジョン策定にあたって

---

## 第1章 水道ビジョン策定にあたって

## 第1章 水道ビジョン策定にあたって

## 1.1 策定の趣旨

魚津市水道事業は、昭和27年に計画給水人口30,000人、計画一日最大給水量6,000m<sup>3</sup>/日をもって創設認可を受け、給水を開始しました。片貝川扇状地の豊富で清澄な地下水を水源として、人口増加や宅地造成等に対応するために、4回の拡張事業をおこない、市民への安心で安全な水道水の供給に努めてきました。

しかし、近年では、経済の低迷や人口減少に伴う水需要の減少等、水道事業をとりまく環境も大きくかわってきており、給水収益は減少するものの、高度成長期に建設した多くの水道施設の更新時期が迫っており、その費用を捻出するために、事業経営は一段と厳しいものになってきています。

一方では、観測史上最大規模の東日本大震災が発生し、今までにない被害状況を受け、災害時でも安定した水の供給が求められるなど、改めて水道をはじめとする基盤施設の必要性が認識され、需要者ニーズの多様化や高度化への対応も求められています。

今後は、老朽化施設の更新はもとより、耐震化も見据えた計画の策定・実施を行い、限られた財源を有効利用して、最適な水道システムを効率的に再構築していく必要があります。

さらに、事業の効率化を図り、安定した事業運営を継続するとともに、環境問題への取り組みや利用者へのサービス提供の充実についても対応する必要があります。

このような状況の中で、将来目標と方針を明確にし、その具体的実現方策を示すものとして、『たゆることなくおいしい水がうるおい続けるまち』を基本理念とした「魚津市水道ビジョン」を策定しました。



横枕浄水場

